

韓国農林畜産食品部 2020. 10. 11 10:25:28 プレスリリース

## ASF 防疫推進状況

<https://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY20CUyRjMyNDg4NCUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIMQIMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cmdzQmduZGVtdHIIMQIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IMQIMjZyb3cIMQxMCUyNmIzVmIld01pbmUIMORmYWxzZSUyNnBhZ2UIMQxJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

ASF 中央事故収拾本部（本部長キム・ヒョンス、以下「本部」）は、10月10日、予防的殺処分対象の農場（江原道華川所在）においても ASF が確認されたことを受け、迅速に初動防疫措置を実施していると明らかにした。

○中央疫学調査班（4人）を派遣し、発生農場や疫学関連農場、畜産施設・車両等を迅速に調査した。

-当該農場の殺処分は完了しており、農家が所有している抱川市所在の養豚農場2戸に対しても予防的殺処分を実施中。

○本部は延長された一時移動停止命令期間中（～10月12日午前5時）に自治体・農協の広域防除器・消毒車両と軍提督車両など利用可能な資材を導入し、華川・抱川などを中心に道路・農場・畜産施設の集中消毒を実施する方針である。

本部は京畿・江原北部と隣接14市郡の養豚農場373戸（殺処分農家を除く）の豚の血液試料を採取して精密検査を実施している。

○現在までに291戸（78%）の試料採取が完了し、検査が完了した163戸は、すべて陰性であった（10月10日24:00時点）

本部は10月10日に開催されたASF状況会議\*を通じ、

\*1次：10.8（木）、2次：10.9（金）、3次：10.10（土）

○野生イノシシ防疫帯（陽性個体発見地点から半径10km）内の養豚農場（175戸）の中で自治体長がASF発生のおそれが高いと判断し、かつ買上げを希望する農家に対しては、買上げを実施することとした。

○キム・ヒョンス本部長は、ASF防疫に関連し、「養豚農場進入路や農場入口などへの生石灰散布、豚舎出入り前の手洗いやブーツ履替え、母豚への接触自制など農家が防疫上の注意を遵守してほしい」と呼びかけた。